

【基礎分野】

科目	単位 (時間数)	年次	開講時期	担当者
論理学	1 (30)	1	第1学期	院外講師
目 標				
1. 論理的思考の基本について学び、事実や現象を論理的に深く理解する能力を養う				
2. 看護における判断力を養うとともに、主体的に文章や言葉で表現できる基礎的能力を身につける				
ディプロマポリシーとの関連：DP4の達成に寄与				
回	時間	授業内容	授業方法	備考
1	2	論理とは何か? [Text 第1章] : 1. 論理学をなぜ学ぶのか 2. 論理とは「形式」である	講義	
2	2	三段論法 [Text 第2章] : 1. 命題 (テーゼ) とは 2. 三段論法 3. 三段論法の練習 【NHK 1】	講義	
3	2	論理の形式 [Text 第10章] : 1. 論理の形式 2. 前提的誤謬 3. 内容的飛躍 【NHK 2】	講義	
4	2	否定と反対 [Text 第3章] : 1. 伝統的な論理的誤謬 2. 論理学の三大原理 3. 否定 【NHK 3】	講義	
5	2	ド・モルガンの法則 [Text 第4章] : 1. かつ・または 2. ヴェン図 3. ド・モルガンの法則 【NHK 8】	講義	
6	2	第1回から第5回までの振り返り 【NHK 4】	講義	
7	2	必要条件・十分条件と逆・裏・対偶 [Text 第5・6・7章] : 1. 必要条件・十分条件 2. 逆・裏・対偶 3. 対偶証明法 【NHK 6】	講義	
8	2	背理法 [Text 第9章] : 1. 背理法 2. 背理法のQ&A 【NHK 7】	講義	
9	2	帰納法・演繹法 [Text 第9・10章] : 1. 帰納法 2. 演繹法 3. 帰納法と演繹法のQ&A 【NHK 9】	講義	
10	2	定言的命題 (述語論理) [Text 第11章] : 1. 定言的命題 2. 矛盾対当・反対対当・大小対当 【NHK 5】	講義	
11	2	他の証明方法と仮説形成の評価 [Text 第12章] : 1. 経験や事例の有効性 2. 直観・直感を疑う 【NHK10】	講義	
12	2	第7回から第11回までの振り返り : 1. Q&A 2. 命題の分解 3. 相関関係と因果関係	講義	
13	2	プリントの問題や過去問 [Textの問題 p.197-p.204]	講義 演習	
14	2	看護に関する考えや思いを論理的に文章表現する	講義 演習	
15	1	課題レポートの発表会	講義 演習	
16	1	終講試験		
授業形態	講義および演習			
評価方法 点数配分	講義での小テスト 30点、 課題レポート20点、 終講試験 50点 他の事項については履修規程の第5条、第6条に定めるとおりとする			
テキスト	それゆけ! 論理さん : 筑摩書房			
その他	【NHK 1~10】は「ロンリのちから」を視聴。 https://www.nhk.or.jp/kokokoza/tv/ronri/			

【基礎分野】

科目	単位 (時間数)	年次	開講時期	担当者
物理学	1 (30)	1	第1学期	院外講師
目 標				
生活の中にある物理の基本法則や看護に関係する物理的知識を理解する				
ディプロマポリシーとの関連：DP4の達成に寄与				
回	時間	授業内容	授業方法	備考
1	2	看護における物理学 力とは何か	講義	
2	2	力の合成と分解	講義	
3	2	力の合成・分解の応用 質量と重さ トルクとは何か	講義	
4	2	トルクの応用	講義	
5	2	実験 (力の合成・トルク・浮力)	講義 演習	
6	2	実験まとめ (安定・不安定・重心)	講義	
7	2	撃力、作用・反作用	講義	
8	2	摩擦力、人体へのトルクの応用	講義	
9	2	人体トルクの応用、熱・圧力	講義	
10	2	大気圧・浮力・比重	講義	
11	2	動圧と静圧、血圧、浸透圧	講義	
12	2	気体の圧力、光、放射線	講義	
13	2	音 (音波、ドップラー効果、超音波)	講義	
14	2	浸透圧、低圧持続吸引装置	講義	
15	1	低圧持続吸引装置	講義	
16	1	終講試験		
授業形態	講義・演習			
評価方法 点数配分	筆記試験 100点 他の事項については履修規程の第5条、第6条に定めるとおりとする			
テキスト	完全版 ベッドサイドを科学する 看護にいかす物理学 改訂第4版 : 学研メディカル			
その他				

【基礎分野】

科目	単位 (時間数)	年次	開講時期	担当者
※情報科学理論	1 (30)	1	第1・2学期	教員 院外講師
目 標				
1. コンピュータの仕組みと機能について学び、基本的な取り扱いを理解し、学校生活に必要な情報通信技術を身につける				
2. インターネット上の情報や医療情報を活用する上での情報倫理や安全性について理解する				
ディプロマポリシーとの関連：DP4、DP7の達成に寄与				
回	時間	授業内容	授業方法	備考
1	2	1. 情報の活用と情報倫理 (情報リテラシー)	講義	
2	2	2. 学校生活に必要な情報通信技術 (ICT) の活用と情報倫理 ①Google Classroom の利用方法 (基本操作と設定 課題の作成と提出) ②Zoom の利用方法 (基本操作と設定)	講義 PC操作	
3	2	3. 医療情報 (電子カルテ) の取扱い 電子カルテの3要素	講義	
4	2	授業概要説明 ネットワーク環境の説明 ファイルとフォルダ 拡張子 タッチタイピング (必要性・練習方法・アプリ)	講義 PC操作	
5	2	4. コンピューターの仕組みと機能 (ハードとソフト メモリ 周辺機器)	講義 PC操作	
6	2	5. Excelの活用 Excel基礎 (セル番地 数式 数式コピー 罫線 保存)	講義 PC操作	
7	2	5. Excelの活用 Excel応用 (関数 ソート 抽出 印刷設定)	講義 PC操作	
8	2	5. Excelの活用 Excelグラフ作成 (円 複合 散布図)	講義 PC操作	
9	2	6. Wordの活用 Word基礎 (ページ設定 アウトライン設定 日本語入力)	講義 PC操作	
10	2	6. Wordの活用 Word応用 (報告書作成 Excelで分析した表とグラフを挿入)	講義 PC操作	
11	2	7. Power Pointの活用 Power Point基礎 (自己紹介用プレゼン資料作成)	講義 PC操作	
12	2	7. Power Pointの活用 Power Point応用 (表とグラフ、動画などを挿入したプレゼン資料作成)	講義 PC操作	
13	2	8. インターネットによる情報検索 (セキュリティとマナー)	講義 PC操作	
14	2	9. Excel.Word.Power Pointの統合演習	講義 PC操作	
15	1	まとめ	講義 PC操作	
16	1	終講試験		
授業形態	講義およびPC操作			
評価方法 点数配分	筆記試験100点 他の事項については履修規程の第5条、第6条に定めるとおりとする			
テキスト	看護情報学 : 医学書院			
その他	※この科目は実務経験のある教員による授業科目である			

【基礎分野】

科目	単位 (時間数)	年次	開講時期	担当者
情報科学実践	1 (30)	2	第1学期	院外講師
目 標				
情報処理の基本的な考え方を理解し、情報の処理・分析の実際を通して、科学的に物事を考える基礎的能力を身につける				
ディプロマポリシーとの関連：DP7、DP4の達成に寄与				
回	時間	授業内容	授業方法	備考
1	2	Excel復習① (集計に必要な機能 グラフ)	講義 PC操作	
2	2	Excel集計② (集計に必要な関数)	講義 PC操作	
3	2	正規分布 分散 標準偏差 Excel分析ツール	講義 PC操作	
4	2	母集団と標本 仮説検定 有意水準 帰無仮説 尺度	講義 PC操作	
5	2	パラメトリック検定① 間隔尺度 平均値の検定 t検定 (3種類) 分散の検定 F検定	講義 PC操作	
6	2	パラメトリック検定② 間隔尺度 ・練習問題	講義 PC操作	
7	2	ノンパラメトリック検定① 順序尺度 マン・ホイットニーのU検定 ウィルコクソンの符号順位検定	講義 PC操作	
8	2	ノンパラメトリック検定② 順序尺度・練習問題	講義 PC操作	
9	2	ノンパラメトリック検定③ 名義尺度・ χ^2 検定 期待値の計算	講義 PC操作	
10	2	ノンパラメトリック検定④ 名義尺度・フィッシャーの直接確率計算法	講義 PC操作	
11	2	相関係数 (ピアソン 相関係数の有意性の検定 散布図)	講義 PC操作	
12	2	総合演習① (これまでの内容を網羅した総合的な問題)	講義 PC操作	
13	2	総合演習② (これまでの内容を網羅した総合的な問題)	講義 PC操作	
14	1	総合演習の解説	講義 PC操作	
15	1	まとめ	講義 PC操作	
16	2	終講試験		
授業形態	講義およびPC操作			
評価方法 点数配分	筆記試験100点 他の事項については履修規程の第5条、第6条に定めるとおりとする			
テキスト	統計学 : 医学書院			
その他	コンピューターを使用しながら理論と基本的な取り扱いを身につける 統計的な分析を行い報告書をコンピューターで使用して作成する			

【基礎分野】

科目	単位（時間数）	年次	開講時期	担当者
教育学	1（30）	2	第1学期	院外講師

目 標

1. 教育や学校についての基本的な概念や言葉について理解できるようになる。
2. 生涯学習など、学校教育以外の教育についても理解できるようになる。
3. 学問的・科学的な思考方法や判断力を身につけ、主体的に活用できるようになる。
4. 看護師として働く際に必要な教育的資質を培う。

ディプロマポリシーとの関連：DP7の達成に寄与

回	時間	授業内容	授業方法	備考
1	2	1. 社会の中の教育と看護 2. 教育とはなにか（「教育」の概念） テキスト第1部第1.2章	講義	
2	2	3. 教育の対象（子ども観と発達） テキスト第1部第2.3章	講義	
3	2	4. 社会の変動と教育 5. 教育の組織化（学校） テキスト第1部第4.5章	講義	
4	2	6. 教授（人を教えるということ） テキスト第2部第1章	講義	
5	2	7. 訓育（他者との関わりを導く） テキスト第2部第2章	講義	
6	2	8. 養護（教育の受け手を見守る） テキスト第2部第3章	講義	
7	2	9. 発達（教育を受けて成長する） テキスト第2部第4章	講義	
8	2	10. 学びの場（家庭と学校） テキスト第3部第1章	講義	
9	2	11. 教育の目標と評価 テキスト第3部第2章	講義	
10	2	12. 教育のメディア（教育をデザインする） 13. 教育の場をつくるしくみ テキスト第3部第3.5章	講義	
11	2	14. 教育の担い手（専門性と専門職生） テキスト第3部第4章	講義	
12	2	15. キャリア教育（専門教育） テキスト第4部第1章	講義	
13	2	16. ジェンダーとセクシュアリティ テキスト第4部第2章	講義	
14	2	17. 特別ニーズ教育・インクルーシブ教育 テキスト第4部第3章	講義	
15	1	18. 生涯学習 19. シティズンシップ教育 テキスト第4部第4.5章	講義	
16	1	終講試験		

授業形態

講義および演習

評価方法
点数配分

講義での提出物・レポート30点、筆記試験（論述試験）70点
他の事項については履修規程の第5条、第6条に定めるとおりとする

テキスト

教育学：医学書院

その他

- ・予習としてテキストを読み、疑問点等を明確にしておくこと。
- ・授業内で実施するディスカッション及び章レポートに積極的に取り組むこと。

【基礎分野】

科目	単位 (時間数)	年次	開講時期	担当者
スポーツ科学	1 (30)	1	第1学期	院外講師
目 標				
運動・スポーツによる身体への生理的影響を理解し、あらゆる健康レベルの人々の健康を維持・増進させるために適した身体活動の内容を理解する				
ディプロマポリシーとの関連:DP2、DP3、DP5の達成に寄与				
回	時間	授業内容	授業方法	備考
1	2	ガイダンス 健康とは何か?運動とは何か?	講義 実技	
2	2	体力テスト	講義 実技	
3	2	健康増進のための歩行運動とジョギング運動	講義 実技	
4	2	健康増進のためのストレッチ	講義 実技	
5	2	生活習慣病と運動①	講義 実技	
6	2	生活習慣病と運動②	講義 実技	
7	2	有酸素運動の効果	講義 実技	
8	2	無酸素運動の効果	講義 実技	
9	2	メンタルヘルスと運動	講義 実技	
10	2	ライフステージとスポーツ	講義 実技	
11	2	高齢者とできる運動、レクリエーション (企画)	講義 実技	
12	2	高齢者とできる運動、レクリエーション (発表)	講義 実技	
13	2	障がい者スポーツ	講義 実技	
14	2	スポーツとの関わり方	講義 実技	
15	2	レポート まとめ	講義 実技	
授業形態	講義および実技			
評価方法 点数配分	毎回の授業での実技評価 70点、レポート 20点、授業態度 10点 他の事項については履修規程の第5条、第6条に定めるとおりとする			
テキスト				
その他	運動と健康の関係について、講義と実技で学習する 実技を通し、企画・運営・活動を学習する。			

【基礎分野】

科目	単位 (時間数)	年次	開講時期	担当者
心理学	1 (30)	1	第1学期	院外講師
目 標				
1. 看護の対象である人間の心の形成・発達プロセスについて学ぶ 2. 人間の行動と心理とその背景について考え、自己理解・他者理解を深める				
ディプロマポリシーとの関連：DP3、DP1の達成に寄与				
回	時間	授業内容	授業方法	備考
1	2	科学としての心理学	講義	
2	2	感覚と知覚	講義	
3	2	記憶のメカニズム	講義	
4	2	感情のメカニズム	講義	
5	2	学習、古典的条件付け	講義	
6	2	言語と思考	講義	
7	2	性格	講義	
8	2	発達段階と発達課題 ライフイベントスケール	講義	
9	2	関係的存在としての人間 人間関係の発達	講義	
10	2	青年期、成人、老年期の心理 自我同一性測定	講義	
11	2	乳幼児期の心理 児童期の心理	講義	
12	2	患者を支える人間関係 ケアに生かすコミュニケーション	講義	
13	2	自己実現 マズローの欲求階層説	講義	
14	2	家族を含めた患者を支える人間関係 地域をつくる人間関係 わたしの感情曲線	講義	
15	1	まとめ	講義	
16	1	終講試験		
授業形態	講義および演習			
評価方法 点数配分	筆記試験 100点 他の事項については履修規程の第5条、第6条に定めるとおりとする			
テキスト	心理学 : 医学書院 人間関係論 : 医学書院			
その他				

【基礎分野】

科目	単位（時間数）	年次	開講時期	担当者
人間関係論	1（30）	1	第1学期	院外講師
目 標				
1. 人間関係から人（対象）を理解する 2. 自己を理解し、人間関係能力を高める 3. カウンセリング理論と技法の基礎を理解する。 4. 事例を通し、臨床における対象の心理を理解することの必要性とその方法を身につける。				
ディプロマポリシーとの関連：DP3、DP1の達成に寄与				
回	時間	授業内容	授業方法	備考
1	2	人間関係とは：導入とコミュニケーション、自己理解について	講義	
2	2	コミュニケーション： 1) 自己理解 2) 他者理解 3) 他者との関係づくり 4) 五感を活用したコミュニケーション	講義 演習	
3・4	4	コミュニケーション： 1) 自己理解 2) 他者理解 3) 他者との関係づくり 4) 五感を活用したコミュニケーション	校外 学習	
5	2	コミュニケーション： 1) 自己理解 2) 他者理解 3) 他者との関係づくり 4) 五感を活用したコミュニケーション	講義 演習	
6	2	コミュニケーション： 1) 自己理解 2) 他者理解 3) 他者との関係づくり 4) 五感を活用したコミュニケーション	講義 演習	
7	2	コミュニケーション： 1) 自己理解 2) 他者理解 3) 他者との関係づくり 4) 五感を活用したコミュニケーション	講義 演習	
8	2	カウンセリングとは何か：臨床心理学・カウンセリングについて概要を学ぶ	講義	
9	2	心理的問題の分類 神経症・精神病・人格障害・心身症・発達障害・知的障害などの心理的問題について学ぶ	講義	
10	2	心理検査：心理検査の概要を学ぶ	講義	
11	2	カウンセリングの実際①	講義	
12	2	カウンセリングの実際②	講義	
13	2	臨床心理学の理論 フロイト・ユング・ロジャーズ・認知行動療法などの、臨床心理学の理論について学ぶ	講義	
14	2	看護とカウンセリング 看護の実践場面において、臨床心理学・カウンセリングをどう活かすのかについて学ぶ	講義	
15	1	学校生活における人間関係 カウンセリングの実際	講義	
16	1	終講試験		
授業形態	講義および演習			
評価方法 点数配分	①出席点5点×7回 レポート15点 ②筆記試験 他の事項については履修規程の第5条、第6条に定めるとおりとする			
テキスト				
その他				

【基礎分野】

科目		単位（時間数）	年次	開講時期	担当者
社会学		1（30）	1	第2学期	院外講師
目 標					
社会情勢と人間の関わりを学び、社会の流れとその時代に生きた人の価値観、生活様式についての理解を深め、その人の置かれた環境との相互作用を理解する					
ディプロマポリシーとの関連：DP1、DP3、DP2の達成に寄与					
回	時間	授業内容	授業方法	備考	
1	2	授業オリエンテーション 社会学の“社会”について意識する	講義		
2	2	日常生活について意識する それぞれの日常生活のあり方を知る	講義		
3	2	社会変動の実態を知る 流行と社会の関連 日常の便利について	講義		
4	2	社会の中での家族の形態の変化 ジェンダーについての考察	講義		
5	2	ジェンダーにおける役割分担、その実態と課題 格差社会について	講義		
6	2	社会における集団 集団がある意味、課題 働く上での集団	講義		
7	2	集団の中での葛藤 個の利益と社会の利益	講義		
8	2	地域社会の中での生活 自ら住む地域を意識してみる	講義		
9	2	地域社会での見守り活動 個人の問題と社会の問題	講義		
10	2	自らの地域の特徴、課題のまとめ	講義		
11	2	グローバルな社会の中でみられる様々な現象、異文化コミュニケーション	講義		
12	2	異文化交流と日本文化 外国人観光客増による生活の変遷	講義		
13	2	社会学授業の振り返り（個人の生活）	講義		
14	2	社会学授業の振り返り（家族・地域） 要点の再確認	講義		
15	1	全授業を通して、対人援助職が「社会」を学ぶことについて考える	講義		
16	1	終講試験			
授業形態	講義				
評価方法 点数配分	筆記試験 100点 他の事項については履修規程の第5条、第6条に定めるとおりとする				
テキスト	社会学：医学書院				
その他					

【基礎分野】

科目	単位（時間数）	年次	開講時期	担当者
法学	1（15）	1	第1学期	院外講師
目 標				
日常的に耳にする法律用語（被告と被告人の違い、民事責任・刑事責任・行政責任の違い等）の意味を理解する。さらに、医療事故等、実際の裁判例に触れながら、将来、自らがどのように社会と関わっていくのかを考えるきっかけとする				
ディプロマポリシーとの関連：DP1、DP7の達成に寄与				
回	時間	授業内容	授業方法	備考
1	2	看護と法 法律の基本的事項、民事・刑事・行政上の責任について	講義	
2	2	裁判と法的責任 民事と刑事の違い、裁判の進行及び仕組み、刑事責任について	講義	
3	2	民事責任、看護師の過失 診療契約の内容とその違反に伴う責任について	講義	
4	2	看護と患者情報の取扱い 守秘義務（保助看法・個人情報保護法等） インフォームドコンセント	講義	
5	2	SNS利用上の注意 ハラスメント	講義	
6	2	看護と労働法 労働基準法の基本規定、母体保護措置について	講義	
7	2	看護師の法的位置づけ	講義	
8	1	終講試験		
授業形態	講義			
評価方法 点数配分	①平常点 30点 講義時に実施する復習テスト（1問1点）及び各回提出のリフレクションペーパーの記載内容を踏まえて採点する。また、講義時の積極的発言等も加点に考慮する。 ②終講試験 70点 配布レジユメのみ持ち込み可とする。 他の事項については履修規程の第5条、第6条に定めるとおりとする。			
テキスト	看護のための法学：ミネルヴァ書房			
その他	以上の授業内容の予定につき、アンケート結果を踏まえて変更をする場合もある。 その他、必要に応じて、資料を配布する。 テキスト及び配布資料・レジユメを毎回持参すること			

【基礎分野】

科目	単位（時間数）	年次	開講時期	担当者
生命倫理学	1（30）	1	第2学期	院外講師
目 標				
看護の対象となる人間を医療施設で治療を受けている側面のみではなく、社会生活を営んでいる人間として「生きる」ことを総合的に考え、関与することができるための態度を学ぶ。				
ディプロマポリシーとの関連：DP1の達成に寄与				
回	時間	授業内容	授業方法	備考
1	2	倫理学とは何か	講義	
2	2	社会の倫理（正義）	講義	
3	2	身近な関係の倫理（愛）	講義	
4	2	個人の倫理（自由）	講義	
5	2	倫理の基本・まとめ	講義	
6	2	生命倫理学の成立背景	講義	
7	2	インフォームド・コンセントとパターナリズム	講義	
8	2	宗教上の理由による輸血拒否と倫理	講義	
9	2	安楽死の問題	講義	
10	2	脳死の問題（1）	講義	
11	2	脳死の問題（2）	講義	
12	2	臓器移植の問題	講義	
13	2	生殖技術の問題	講義	
14	2	遺伝子技術の問題	講義	
15	1	まとめ	講義	
16	1	終講試験		
授業形態	講義			
評価方法 点数配分	筆記試験 60点 平常点40点 他の事項については履修規程の第5条、第6条に定めるとおりとする			
テキスト	愛とか正義とか : 萌書房			
その他				

【基礎分野】

科目	単位 (時間数)	年次	開講時期	担当者
比較文化論	1 (30)	3	第1学期	院外講師
目 標				
本授業は日本文化について理解を深め、諸外国の文化・風習について学ぶ。異文化理解を深め、人間理解に資する力を身につける。				
ディプロマポリシーとの関連：DP3、DP2の達成に寄与				
回	時間	授業内容	授業方法	備考
1	2	異文化を学ぶ意義	講義	
2	2	文化について考える (1)	講義	
3	2	文化について考える (2)	講義	
4	2	異文化との付き合い方について	講義	
5	2	関心のある国・地域について調べる (1)	講義	
6	2	関心のある国・地域について調べる (2)	講義	
7	2	ステレオタイプ、固定観念について	講義	
8	2	異文化との付き合い方について	講義	
9	2	異文化トレーニングについて	講義	
10	2	異文化トレーニング体験	講義	
11	2	世界の価値観、カルチャーマップについて (1)	講義	
12	2	世界に価値観、カルチャーマップについて (2)	講義	
13	2	カルチャーマップについて	講義	
14	2	カルチャーショックについて	講義	
15	1	異文化受容について	講義	
16	1	終講試験		
授業形態	講義			
評価方法 点数配分	筆記試験 100点 他の事項については履修規程の第5条、第6条に定めるとおりとする			
テキスト	講義資料を配布する 必要に応じて読書案内 (参考文献) を指示する			
その他				

【基礎分野】

科目	単位（時間数）	年次	開講時期	担当者
医療英語	1（30）	1	第1学期	院外講師
目 標				
医療現場で必要とされる英会話及び英語表現の基礎的能力を身につける				
ディプロマポリシーとの関連：DP3の達成に寄与				
回	時間	授業内容	授業方法	備考
1	2	授業紹介	講義	
2	2	診察室の与診①	講義	
3	2	診察室の予診②	講義	
4	2	一般内科の診察	講義	
5	2	感染症の診察	講義	
6	2	外科の診察	講義	
7	2	整形外科の診察	講義	
8	2	眼科の診察	講義	
9	2	耳鼻科の診察	講義	
10	2	小児科の診察	講義	
11	2	皮膚科の診察	講義	
12	2	泌尿器科の診察	講義	
13	2	医学用語の基本パーツ①	講義	
14	2	医学用語の基本パーツ②	講義	
15	1	最終授業 映画に学ぶ英語表現	講義	
16	1	終講試験		
授業形態	講義			
評価方法 点数配分	筆記試験 100点 他の事項については履修規程の第5条、第6条に定めるとおりとする			
テキスト	病院のなかの英会話 第2版 : 医学書院 補助教材：1. ER “Be Patient” (6th Season 第15話) DVD及びプリント 2. 「医学用語の基本パーツ」プリント 時間が確保できれば、適宜その他の補助教材も投入する予定			
その他	単位取得の条件 必要出席回数の確保 ②思慮のある授業態度 ③終講試験で60点以上取得			

【基礎分野】

科目	単位（時間数）	年次	開講時期	担当者
英語講読	1（15）	1	第2学期	院外講師
目 標				
この科目では英語の構造と英文の構造を理解し、読解を行う。また、国際社会に対応できるよう、英文の読解力を高め、看護・医療分野の英語の文献（論文の要約）が理解できる基礎的能力を身につける。				
ディプロマポリシーとの関連：DP、DP7の達成に寄与				
回	時間	授業内容	授業方法	備考
1	2	本授業の進め方の説明 文法の構造理解と読解①	講義	
2	2	文法の構造理解と読解②	講義	
3	2	文法の構造理解と読解③	講義	
4	2	看護・医療分野の文献の要約の読解①	講義	
5	2	看護・医療分野の文献の要約の読解②	講義	
6	2	看護・医療分野の文献の要約の読解③	講義	
7	2	今後の英語学習の指針と辞書の引き方	講義	
8	1	終講試験		
授業形態	講義			
評価方法 点数配分	筆記試験 100点 他の事項については履修規程の第5条、第6条に定めるとおりとする			
テキスト	毎回の講義で学習用プリントを配布するためテキストなし			
その他	単位取得の条件 ①必要出席回数の確保 ②思慮のある授業態度 ③終講試験で60点以上取得			